

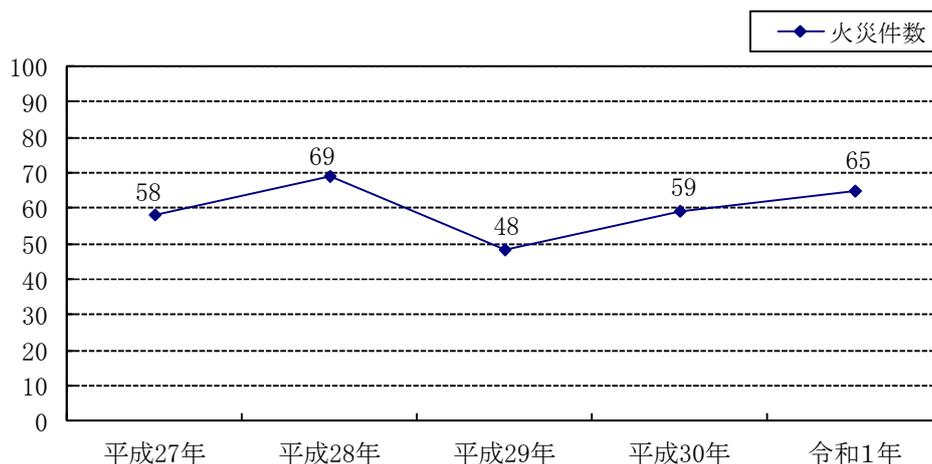
I 火災概況

(2019年 1月～6月)

1 火災件数について

2019年上半期の火災件数は65件で、前年上半期と比較して6件(10%)増加しています。(図I-1参照)

図I-1 火災件数の推移



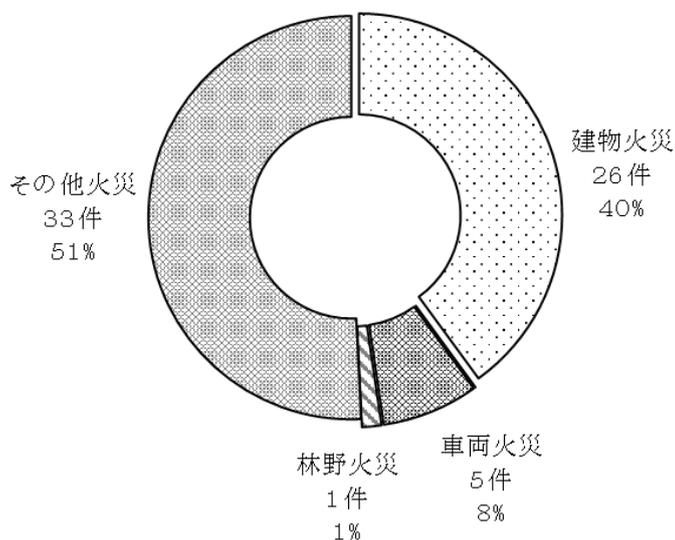
年 別	27年	28年	29年	30年	元年
火災件数	58件	69件	48件	59件	65件

2 火災種別件数について

種別の構成比率をみますと、その他火災(枯れ草火災など)が33件(51%)と最も多く、次いで、建物火災が26件(40%)、車両火災5件(8%)、林野火災1件(1%)となっています。

前年に比べ建物火災は8件、林野火災は1件少なくなっており、車両火災は4件、その他火災は11件多くなっています。(図I-2参照)

図I-2 火災種別ごと件数の状況

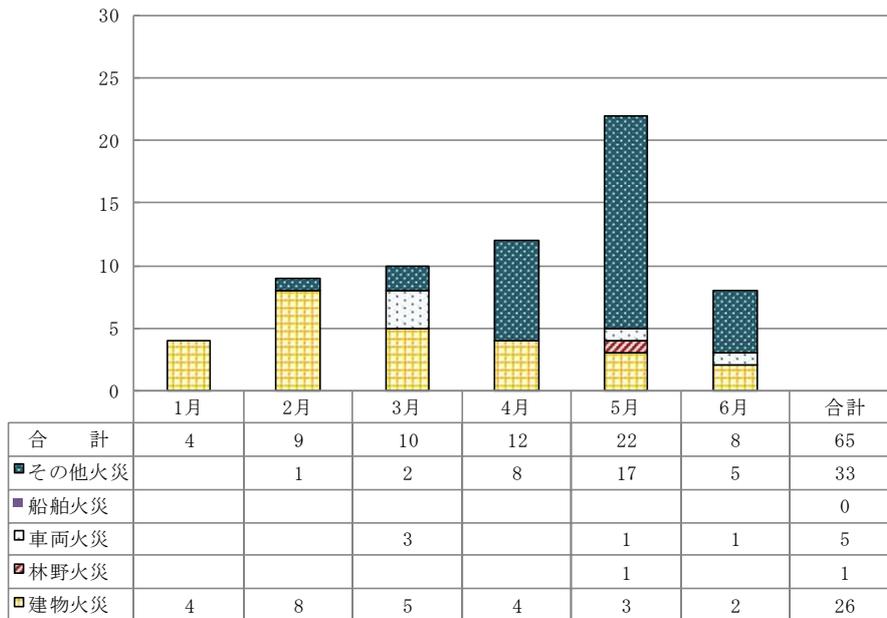


3 月別火災件数について

月別の火災件数をみますと、5月が22件（34%）で最も多く、次いで4月が12件（18%）、3月が10件（15%）となっています。

火災種別ごとの月別の建物火災の状況は、2月が最も多く8件（31%）、次いで3月が5件（19%）、1月と4月に各4件（各15%）発生しています。その他火災については、5月に17件（52%）と最も多く発生しています。（図I-3参照）

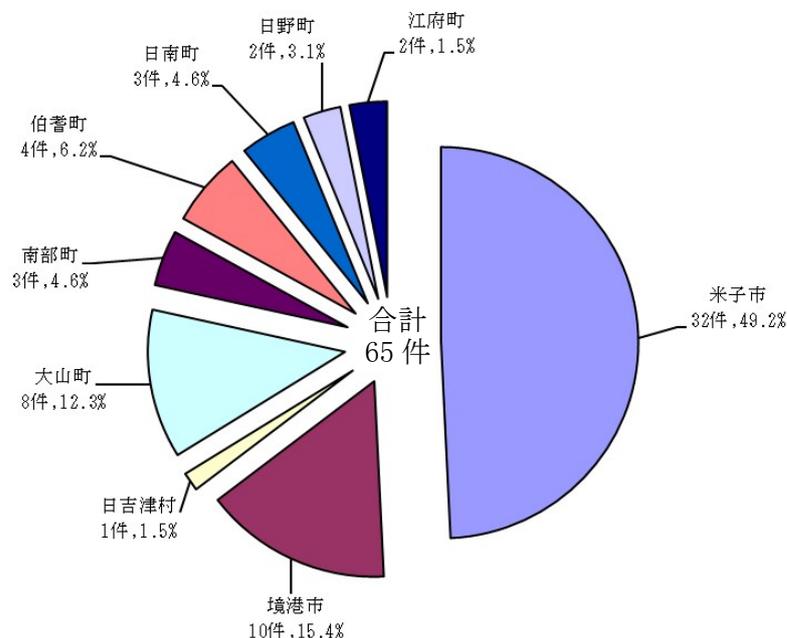
図 I - 3 月別の火災件数



4 市町村別火災件数について

市町村別の火災件数をみますと、米子市が32件、次いで境港市が10件、大山町が8件となっています。（図I-4参照）

図 I - 4 市町村別火災件数の状況



5 損害額について

損害額は、約5,958万円で、前年比30%の減少となっています。

火災種別ごとの損害額は、建物火災が全体の95%を占めています。

月別の損害額は、3月(約2,083万円)が最も多く全体の35%となっています。次いで1月(約1,412万円)の24%となっています。

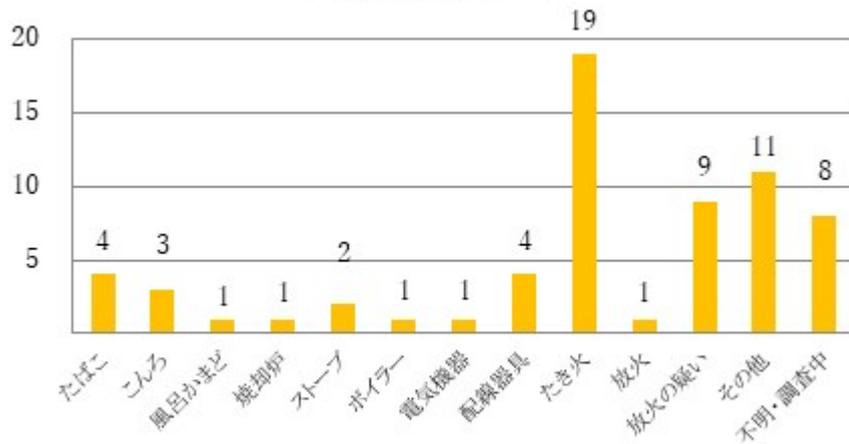
(別表I参照)

6 火災の原因について

原因別では「たき火」が19件(29%)、「その他」11件(17%)、「放火の疑い」9件(14%)となっています。

(図I-5参照)

図I-5 出火原因別グラフ



7 死者・負傷者について

死者は2人発生し、負傷者は前年より1人減少し8人となっています。

(図I-6参照)

図I-6 市町村別死傷者状況



別表1 月別火災発生状況

鳥取県西部広域行政管理組合消防局

	合計		建物火災		林野火災		車両火災		船舶火災		その他火災		焼損棟数				り災世帯				死者	負傷者	30日以内死亡
	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	合計	全	半	り	合計	全	半	り			
1月	4	14,119	4	14,119	458							8	3	1	4	2	2			4	1		
2月	9	1,503	8	1,503							1	8		3	5	3				9		1	
3月	10	20,833	5	20,628	271		3	205			2	9	4	1	2	1				2		4	
4月	12	1,599	4	1,599	21						8	4		1	3	2				4		1	
5月	22	10,634	3	10,540	495	1	1	51			17	43	2	1	1							1	1
6月	8	10,894	2	10,696	255		1	195			5	3	2		1	2	1			7		1	
合計	65	59,582	26	59,085	1,500	1	5	451			33	46	11	3	7	15	10	3	1	6	26	2	8